

平成27年度 沖縄海区漁業調整委員会開催状況

	開催日時・場所	議 題	内 容
第1回	平成27年4月10日 14時～16時 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 平成27年度浮魚礁の承認予定数について	浮魚礁の敷設承認基数に関する方針及び今年度の承認予定数の配分について審議し、原案どおり決定した
		(議案2) 浮魚礁の敷設承認申請について	再承認が14基(3漁協、1市)より申請あり。全て承認。併せて平成26年度中の指示違反等の状況について説明
		(議案3) 第7次沖縄県栽培漁業基本計画(案)に係る知事からの諮問について	水産課栽培流通班から、計画(案)について説明があるが、委員からは質問が相次いだ。次回以降の委員会について、再審議を行うこととなる
第2回	平成27年4月30日 10時～12時 ホテルチュラ琉球 7階会議室	(議案1) 平成27年度漁業権途中免許に係る県知事からの諮問及び公聴会の開催について	平成27年9月1日に免許が予定されている途中免許37件の漁場計画と、公聴会の日程等について説明があった。公聴会の日程は原案通り承認され、5月13日～15日の三日間に渡り開催されることとなった
第3回	平成27年5月20日 14時～15時 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) ウミガメの採捕承認申請について	京都大学、西海区水産研究所より試験研究2件の申請。質疑なく、原案通り承認
		(議案2) 平成27年漁業権途中免許に係る漁場計画案に対する答申について	前回の委員会において知事より諮問を受け、5月半ばに公聴会を行った結果、公述人がなく、特定区画漁業権及び定置漁業権について、異議ない旨の答申案を提示。質疑なく、原案通り承認
		(議案3) 第7次沖縄県栽培漁業計画(案)に対する答申について	第1回海区委員会において委員から出た意見を基に、再度県水産課から説明を行った。委員からは、主にシラヒゲウニの放流数、サイズについて質問があった。計画内容については、異議なしで答申を行うこととなった
第4回	平成27年6月12日 14時～14時50分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の新規申請が9基(県1基、漁協8基)、再承認申請が38基(漁協29基、市町村9基)。名護漁協の2基が修繕不備のため、不承認となった。新規9基と再承認36基が承認される。久米島町の中層型浮魚礁を表層型に構造変更する件については、ブロック内で再度協議を調えることを条件に承認
		(報告) 全国海区漁業調整委員会連合会の総会結果について	総会で山川会長が全漁調連副会長に承認されたこと、6月22日に中央省庁への要望活動を行うことが報告された
第5回	平成27年7月14日 14時～15時50分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認枠の追加要望について	国頭漁協から敷設承認枠1基追加の申請あり。異議無く原案通り承認
		(議案2) 浮魚礁の敷設承認申請について	新規2基(漁協)、再承認40基(漁協19基、市町村13基、県8基)あり。伊江村の1基の再承認が保留となったが、それ以外は承認。 県浮魚礁の再承認のための写真撮影が進んでいない件について漁港漁場課担当から説明があり、今年度に限り、例年通りの手続で承認することになった。 期限内に承認されなかった浮魚礁の敷設団体に対する指導文は、県以外の団体に送ることになった
		(議案3) ウミガメの承認申請について	試験研究1件(NPO法人日本ウミガメ協議会附属黒島研究所)、漁業採捕20件の申請あり。異議無く原案どおり承認
		(報告1) 平成27年度全国海区漁業調整委員会連合会の中央要望結果について	全漁調連副会長として6月22日に行われた中央省庁への要望活動に山川会長が参加したこと、また、そのうち外国漁船への対応に関する各省庁からの回答及び意見交換会の内容を報告
		(報告2) 日中漁業協定に関する副知事要請の結果について	7月9日に行われた要望活動の内容を報告

第6回	平成27年8月12日 14時～16時 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 平成27年度漁業権途中免許申請に関する適格性等の審査及び免許の可否について(答申)	特定区画漁業権申請37件、定置漁業権1件、合計38件の申請について漁業法の規定に照らし内容を審議した結果、全て適格性を有しており、免許が適当とする答申を行うこととなった
		(議案2) 浮魚礁の敷設承認申請について	再承認申請が南大東村から3基、県から77基あり、異議なく原案通り承認された
		(議案3) ウミガメの承認申請について	漁業採捕申請が1件あり、異議なく原案通り承認された
		(議案4) 平成27年度全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議の要望提案等について	11月に開催される全漁調連九州ブロック会議の提案要望として、日台・日中漁業協定見直し及びEEZ内の安全操業の3要望事項を事務局から提案した。安全操業については意見がまとまらず、継続審議となった
		(議案5) ソデイカの採捕に係る委員会指示の発動について	7月に漁協、漁組に行った委員会指示に関するアンケート結果の報告を行い、10月1日付けで新たに発動される委員会指示の方針について確認、審議した。指示は中身を変えず、奄美大島海区の発動期間(平成29年6月30日まで)と時期を合わせ、2年間発動することで決議された
第7回	平成27年9月11日 14時～16時10分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の新規申請が八重山漁協から1基、再承認申請が4基(漁協2基、市町村2基)あり、原案通り承認。未だ未承認となっている団体には、今月中に写真撮影を終え次回委員会で承認されること、出来ない場合は次年度の敷設枠に制限を設ける旨の警告文を発することとなった
		(議案2) 平成27年度全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議の要望提案等について	前回委員会からの継続審議。日台、日中は継続で、EEZ関係は新規として原案通り九州ブロック会議に提案することとなった
		(その他) ソデイカの採捕に係る委員会指示の運用について	ソデイカの採捕に係る委員会指示の通称「50海里規定」が、大東島には適用されないことの確認を行った
第8回	平成27年10月9日 14時～15時30分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	敷設承認申請については、新規3基(浦添宜野湾漁協1基、久米島町2基)、再承認13基(港川漁協1基、知念漁協1基、沖縄市漁協8基、うるま市4基)の申請あり。原案通り承認。また、9月の委員会後に未承認のある団体へ指導を行ったが、なお10月委員会時点でも未承認が解消されない団体が2団体(宜野座漁協、与那国漁協)あった。団体への指導を通じて、今月中に解消されない場合は次回委員会において何らかの処分を行うこととなった
		(議案2)ソデイカの採捕承認申請について	糸満漁協所属の漁業者からソデイカはえ縄漁業の申請があり、原案通り承認
		(その他) 平成27年(4月～7月)における、日台漁業取決め適用水域での本県漁船の操業実績	今年度のクロマグロの時期における日台漁業取決め適用水域での操業実績及び漁具被害について説明
第9回	平成27年11月13日 14時～15時40分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認枠の追加要望について	伊平屋村漁協から敷設承認枠1基の申請あり。異議無く原案通り承認
		(議案2) 浮魚礁の敷設承認申請について	新規3基(伊平屋村漁協1基、国頭村漁協1基、宜野座村漁協1基)、再承認3基(宜野座村漁協1基、与那国町協2基)の申請あり。原案通り承認。また、前回の委員会で質問のあった、他県の浮魚礁に係る委員会指示違反に対する処分事例について、宮崎県が過去に浮魚礁利用承認を取り消したことがあると説明
		(議案3) 沖縄県資源管理指針(改正案)について(意見の聴取)	年度末に改正予定の沖縄県資源管理指針(案)の主な改正ポイント(グラフの更新等)を説明。原案の1. 漁業概観中『浮魚礁漁業』を『マグロ・カツオ一本釣り漁業等』と変更する点について、一つにせず分けて欲しいとの意見があった

第10回	平成27年12月11日 15時～16時 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	新規2基(名護漁協1基、与那国町漁協2基)の申請あり。異議なく原案通り承認
		(議案2) ウミガメの承認申請について	試験研究1件(いであ(株)沖縄支社)、漁業者から2件の申請。タイマイの採捕及びいであ(株)の試験研究用採捕済タイマイの養殖用転化について意見あり。原案通り承認
		(報告1) 沖縄海区漁業調整委員会指示27第3号(沖縄島北部水域におけるスジアラ及びシロクラベラ資源の保護培養に関する委員会指示)に係る取組み状況について	今年度から発動された本当北部漁業権海域におけるスジアラ及びシロクラベラの採捕に係る委員会指示を、北部の釣具店やコンビニでのポスター掲示よって遊漁者及び地域住民に対しても周知を図っていること、また北部6漁協が自主採捕禁止によって水産庁長官賞を受けたことが報告された。 なお、遊漁者に対する当魚種の規制については漁獲実績が不明確なため、今後実態把握のうえ検討する方針であることが説明された
第11回	平成28年1月15日 14時～15時 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁承認予定数に関する方針(案)について	平成28年度の浮魚礁の承認予定数に関する方針について審議。今年度の承認予定数は176基だが、28年度は151基と25基の大幅な減予定であることを説明。原案通り承認
		(議案2) 浮魚礁の敷設承認申請について	新規1基(読谷漁協)、再敷設3基(沖縄市漁協)申請あり。原案通り承認
		(議案3) ウミガメの承認申請について	試験研究1件(沖縄美ら島財団)申請あり。異議無く原案通り承認
		(報告1) 沖縄海区漁業調整委員会指示27第3号(沖縄島北部水域におけるスジアラ及びシロクラベラ資源の保護培養に関する委員会指示)に係る取組みの拡大について	現在指示の対象となっている6漁協に加え、伊是名、伊平屋、恩納村、さらには宜野座村、金武、石川漁協との合意が得られれば、暫時委員会指示の対象として加えていく方針を説明
		(報告2) 全国海区漁業調整委員会連合会会長・副会長における協議結果について	平成28年度中央省庁要望提案(案)に関する協議において、沖縄海区として提出した要望がどのように取り入れられたかについて説明。なお、『排他的経済水域(EEZ)における実効支配の確立と漁業権益の充実強化について』は直接的には取り入れられなかったが、全漁調連事務局として手法を肝に銘じておきたいと発言があったことに言及した
第12回	平成28年2月12日 14時～15時40分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	新規3基(久米島漁協、座間味村漁協、八重山漁協)申請あり。原案通り承認
		(協議1) 浮魚礁の敷設に係る委員会指示の発動について	次年度の浮魚礁の敷設に係る委員会指示の内容について協議。委員から事前に指示違反者に対する措置や指示期間の延長等について意見が出ていたが、宮崎県が敷設する浮魚礁の調整、管理及び報告等について指示に盛り込むべきではないかとの意見が出たため、今回は見直しを行わず、1年かけて宮崎と調整し、平成29年4月1日の指示発動時に当該事項を盛り込む方針になる
		(その他) ウミガメの採捕に係る委員会指示について	漁業者等からアオウミガメの増加を問題視する声がかかる中で、漁業者や研究者の意見を取り上げ、ウミガメの規制に係る歴史について説明し、次回発動される委員会指示の方針について意見を伺った。現在、指示による規制の緩和について水産庁に問い合わせている段階でもあり、水産庁から方針が示され次第、委員会で報告し、再度意見を伺うこととする

第 1 3 回	平成28年3月11日 14時～14時50分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 試験研究目的で採捕されたタイマイの移管について	国立研究開発法人水産総合研究センター西海区水産研究所から、所有する天然採捕個体20頭及びその第一世代191頭の合計211頭を一般社団法人日本べっ甲協会に移管することについて申請があり、これまでの西海区の研究結果、べっ甲協会の研究計画等を説明。べっ甲協会は平成29年度から本格的にタイマイの養殖事業を開始させるにあたり、平成28年度は最終的な実証試験を行うため、西海区のタイマイの移管を要望している。 なお、平成28年度中には養殖用への用途変更申請が行われる予定
		(議案2) 浮魚礁の敷設承認申請について	港川漁協から1基の新規申請と、久米島漁協から1基の再敷設申請あり。 原案通り承認
		(議案3) 浮魚礁の敷設に係る委員会指示の発動について	前回の委員会の協議の結果、平成28年度は内容の変更を伴わず発動されることとなった点について確認。 原案通り承認
		(議案4) 北部資源管理に係る委員会指示の発動について	スジアラ及びシロクラベラの体長制限に係る委員会指示を同内容で1年発動するが、対象海域の拡大について調整を続け、恩納、金武、宜野座、石川、伊是名、伊平屋は準備が調い次第指示に追加していく予定。 原案通り承認